

5分でわかる 数学ガールの魅力

福原和朗

<http://www7b.biglobe.ne.jp/~archer/mathgirl/mathgirl.html>

この文書について

- この文書はクリエイティブコモンズ(表示)によってライセンスされます。
- <http://creativecommons.org/licenses/by/2.1/jp/>



数学ガール

- 数学を題材にした小説。
 - 数学好きの高校生が、数学の話題を展開する内容
 - クイズを出し合ったり問題を解いたり
 - <http://www.hyuki.com/girl/>
- 著者：結城浩
 - デザインパターンの本とか、プログラミングの本で有名
 - <http://www.hyuki.com/>
- 単行本が3巻。
- 漫画版もあり。



登場人物

- 「僕」 《語り手》
 - 主人公。彼の視点で物語が進む。高校2年生。
 - 数学が得意
- ミルカ 《オイラー萌えの才媛》
 - 「僕」の同級生。女性。眼鏡着用。ロングヘアー。
 - 基本的に落ち着いた人。クール。
 - 数学がとても得意(現実にはありえないレベル)
 - 数学を語りだすと、高度なことをすごいスピードで話すので他の人はついていくのがやっと。

登場人物

- テトラ — 《妹キャラの元気少女》
 - 「僕」の後輩。高校一年生。眼鏡なし。短い髪。
 - オーバーアクション。
 - 前提条件を忘れがち。→いわゆるドジっ娘。
 - 数学は得意ではないが、学びたいと思っている。
- ユーリ — 《猫語・ポニテの中学二年生》
 - 「僕」の従妹。眼鏡着脱。ポニーテール。
 - ストーリーが進むなかで数学に興味を持つ。
 - 第2巻から登場

その他脇役

- エイエイ
 - 「僕」の同級生。音楽が得意。女性
- 司書の瑞谷先生。(女性)
- 数学の村木先生(男性)
- 見てわかるとおり、脇役はほとんど全員女性です。
 - ハーレムものと言えましょう。

物語

- 大まかに2つに分かれます。
 - ラブコメパート
 - 数学パート

ラブコメパート

- ストーリー展開は稚拙。雑と言って良いレベル。
 - ちょっと変わった展開をして読者の気を引くけど、何事もなかったかのように普通に続く。
 - 作者があと先を考えている印象が薄い。
 - まるで作者が思いついたネタを工夫なしで出しているよう。
- どうしてこうなった？
 - 作者はキャラクタ設定だけして満足してしまった？
 - ストーリーを練り上げる時間&描写する紙幅がなかった？
 - 紙幅制限が丁寧な展開を妨げた？
 - 少なくとも数学パートの質を下げるわけにはいかなそう。
- 話の筋よりキャラクタの魅力を訴求する方向(?)

数学パート

- とても秀逸。
 - ラブコメパートとのギャップが凄い。
- 数学の議論での興味の引き方がとても良い。
 - ストーリーを読むのを止めて問題を解きたくなる。
 - 続きが気になってつい読みふけてしまう。
- 数学がらみの伏線をきちっと張ってきちっと回収
 - 色々な難易度でいくつも張ってくるから読んで飽きない。
- 数学をわかるところの感動がうまく描写されている。

数学ガールの魅力

- 数学を取り組むところの描写
 - 数学的内容が欲しいなら、専門書でよい。
 - 普通の物語が読みたいなら、この小説でなくてもよい。
- 登場人物たちの、数学への姿勢。

数学を取り組むところ

- 問題を前にした緊張感
 - 「わかんない！」(初期のユーリに多い台詞)
 - 間違えるのがこわいから、わからないことにしておく。
 - 「僕の考えた議論は正しいだろうか？(間違ってたらやだなー)」
 - なかなかうまくいかなくてがっかりする。
 - 実際「僕」は何回か間違えてすごくへこみます。
 - けどヒロインにフォローしてもらえます。ええもちろんハーレム系ですから。
 - 「ミルカさんのこの議論どこに行くんだろう？(先が読めない)」
- 答えがわかった時の感動
 - 「！」
 - 「すごい！面白い。」
 - 「一見関係ないと思ってたが、こんなところでつながってた！」
- こうやって、数学をやっているところ(他多数)の描写が魅力かと。

興味を持ったら

- とりあえずは、ウェブ版が無料で読めます。
 - 第1巻の半分ぐらいに相当します。
 - <http://www.hyuki.com/girl/web.html>
- ウェブ版を読んで、続きが読みたくなったら単行本へ。
- コミック版(第1巻分)は興味があれば。
 - 数学的には薄い。
 - どちらかというとなら視点を中心。

ご清聴

ありがとうございました。